

平成27年3月24日  
国土交通省 九州地方整備局  
大隅河川国道事務所

## 記者発表資料

## 国道220号志布志市志布志町帖地区の事故対策が完了！

～事故に繋がる挙動が減少しました！～

『事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作成～を推進します。』

- 大隅河川国道事務所では、平成22年度から事故ゼロプラン※（事故危険区間重点解消作戦）の取り組みを実施しています。
- 今回実施した事故対策箇所（志布志町帖地区の天神交差点及び権現橋交差点）は、長い下り坂の途中にカーブがあり、その後、交差点が2箇所連続しているため追突事故や事故に繋がる危険な挙動がありました（別紙1参照）。
- 平成26年3月に志布志警察署、志布志市役所、大隅河川国道事務所にて事故対策の内容を現地で確認し、平成27年1月末に事故対策工事を完成させました。
- 対策効果としては、①交差点部の走行速度の抑制が17%向上②走行車線のはみ出しが24%減少しました（別紙2、3参照）。

※事故ゼロプランとは、交通事故が多発する特定の区間等に対して、集中的・重点的に交通事故対策を実施することで、交通事故の撲滅を目指す取り組みです。

## ＜お問い合わせ先＞

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

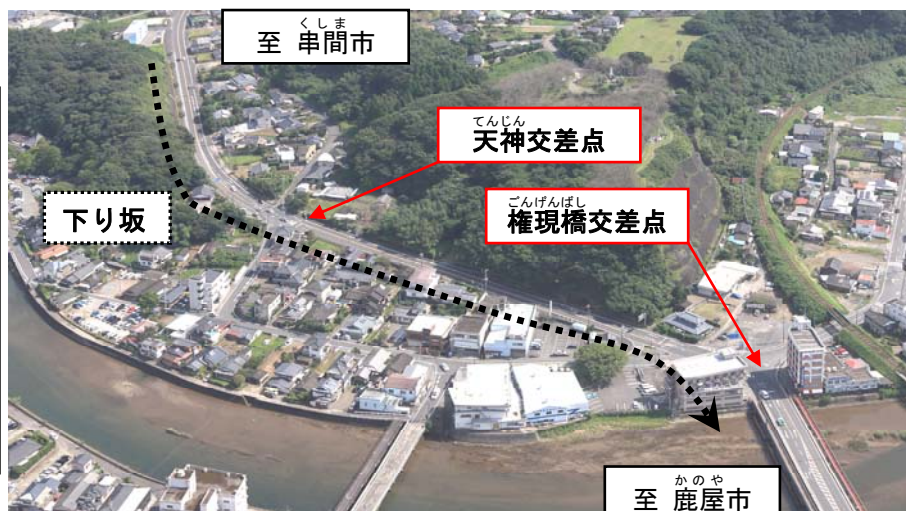
TEL 0994-65-2541（代表） URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>

技術副所長 永利 信太郎（内線 205）

道路管理課長 上原 良文（内線 431）

# 一般国道 220 号 <sup>てんじん</sup>天神交差点 <sup>ごんげんばし</sup>権現橋交差点 事故対策整備効果の概要

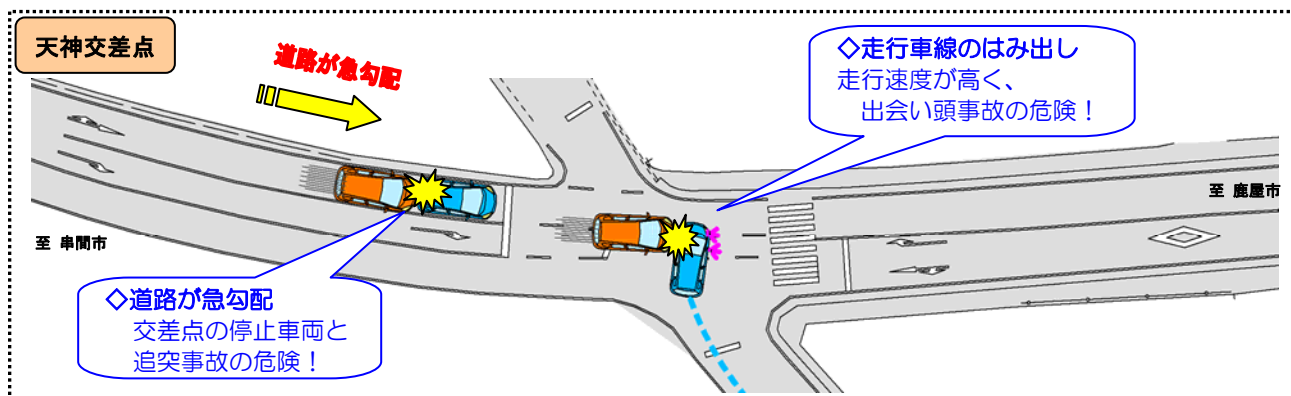
## 1. 位置図



## 2. 事故発生状況

国道 220 号 天神交差点～権現橋交差点間では、H17 年から H26 年にかけて 24 件事故が発生しており、その内約 7 割がスピードの出し過ぎによる追突の事故でした。その他にも、事故に繋がる危険な挙動として「走行車線のはみ出し」が確認されていました。

## 3. 事故の危険な挙動要因



一般国道 220 号 <sup>てんじん</sup>天神交差点 <sup>ごんげんばし</sup>権現橋交差点 事故対策整備内容

4. 事故対策整備内容

事故の要因①

交差点手前は縦断勾配が急である為、交差点進入車両の走行速度が上がりやすい

対策①

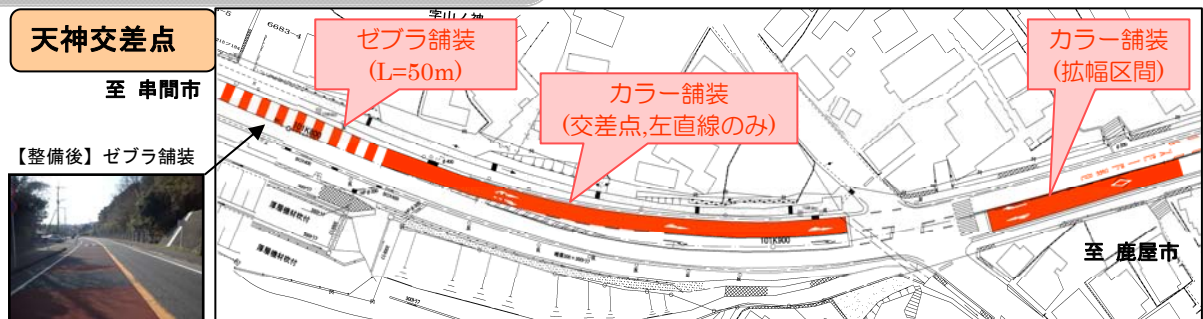
- ・ゼブラ舗装、注意喚起文字
- ・ドットラインによる減速対策

事故の要因②

交差点が屈曲部に位置する為、交差点内の走行車線を認知しにくい

対策②

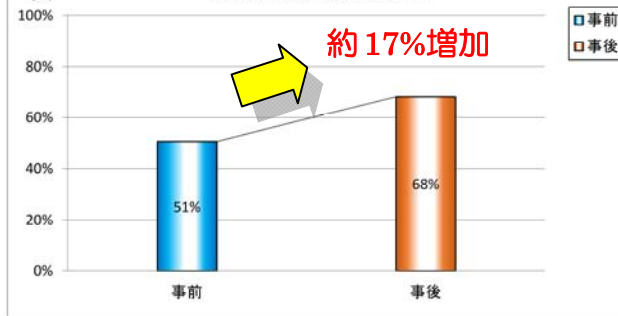
- ・カラー舗装による視覚的な誘導対策



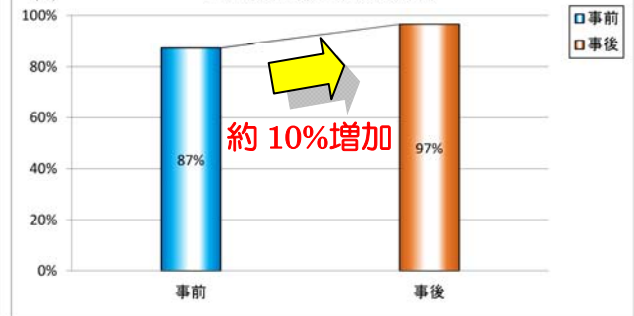
5. 整備効果① (走行速度の抑制)

事前調査  
H26.10.19(日) 13 時台  
事後調査  
H27.1.25 日(日)13 時台

累積度数 事故対策整備前後における走行速度50km/h未満の推移  
天神交差点 (101k875付近)



累積度数 事故対策整備前後における走行速度50km/h未満の推移  
権現橋交差点 (102k075付近)

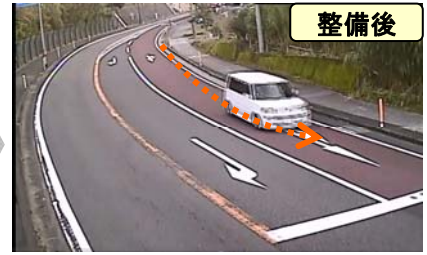


規制速度 50km 以下で走行する車両が 10~17%程度増加しました。

一般国道 220 号 天神交差点 権現橋交差点 挙動・速度調査結果

5. 整備効果-②(走行車線はみ出しの改善)

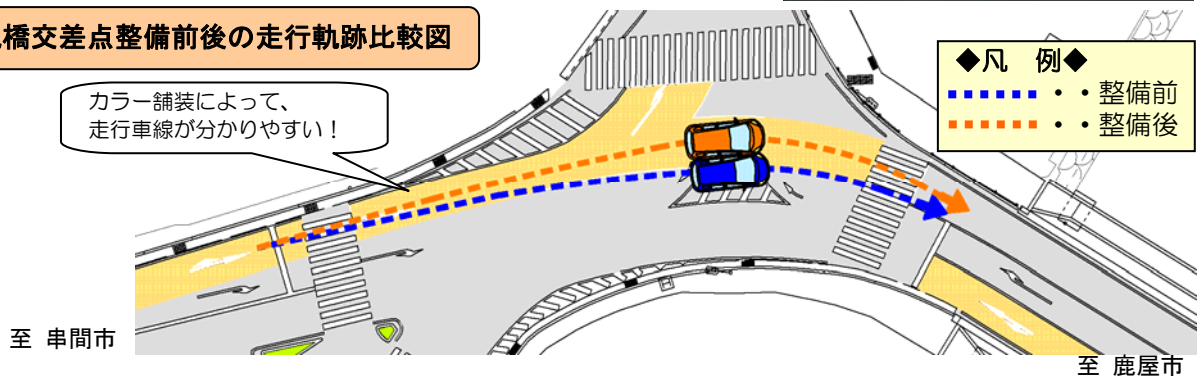
【天神交差点】



【権現橋交差点】

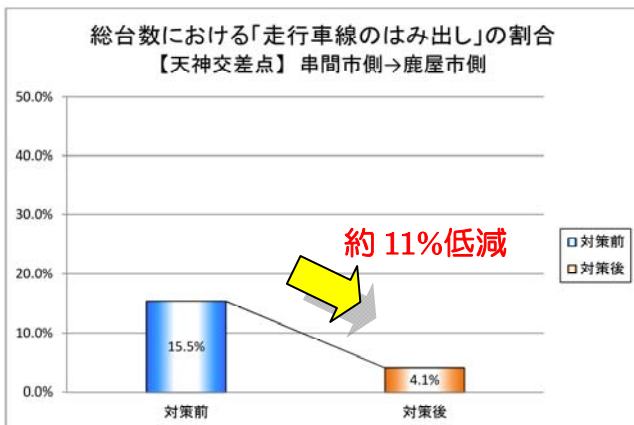


権現橋交差点整備前後の走行軌跡比較図

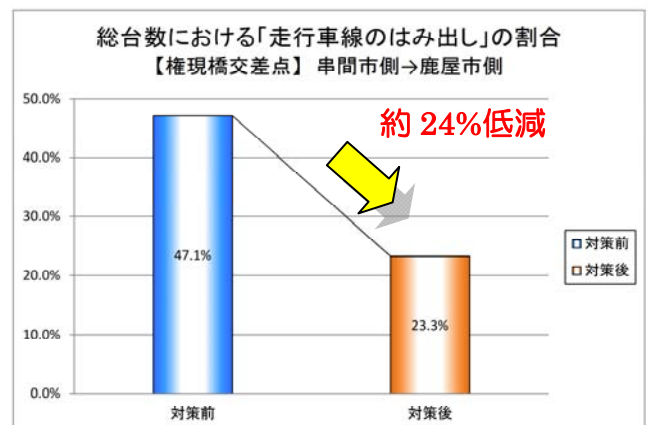


走行車線をはみ出す車両の減少効果

天神交差点



権現橋交差点



事前調査 H26.10.19(日) 18時台  
 事後調査 H27.1.25(日)18時台

走行車線をはみ出して走行する車両が 11~24%減少しました。

今回の事故対策により、走行車両の速度が低減し、走行車線が分かりやすくなったことから、交差点を注意して走行する車両が増加したと考えられ、「交通事故の減少」が期待されます。